

# OKTOMAG

## ユーザーマニュアル & オペレーションガイド

Firmware version: 2.2.1 - Manual Revision: 2017.11.07



**OKTOTEC**   
Film Services

[www.oktotech.com](http://www.oktotech.com)

# Table of contents

---

<b>はじめに</b>	<b>3</b>
概要	3
機能	4
入力 と出力	5
フロントインターフェース	6
一般	7
<b>クイックスタート</b>	<b>8</b>
<b>電源仕様</b>	<b>10</b>
<b>メインモード</b>	<b>13</b>
レコーダー	14
プレイバック	17
ビデオミキサー	19
ミキサーモードの解像度制限	23
<b>機能</b>	<b>24</b>
オンスクリーンブラウザ	24
複数カメラ	25
インスタントビデオ共有	26
ウェブリモート	30
<b>詳細</b>	<b>36</b>
オンボードOLEDディスプレイ	36
メイン設定	37
ジョグボード	39
ワイヤレス/ネットワーク設定	40
ファームウェアアップデート	43
<b>付属品</b>	<b>44</b>

# INTRODUCTION

## OVERVIEW

OktoMagは、TVシリーズ、TVコマーシャル、長編映画、ドキュメンタリーで働く映画制作者向けに設計されたユニークなスタンドアロンのポータブルデバイスです。基本的に全てのクルーの為にビデオと録画と再生をします。



OktoMagには多くのゲームチェンジャー機能があります。これは、ビデオアシスタントの為にスマートなソリューションと技術以外のクルーに最も求められる機能が組み合わさっています。

OktoMagのオンスクリーンサムネイルブラウザを使用すると、録画した動画を短時間で見つけることができます。スマートフォンでライブフレームを表示したり、すべての動画を再生することもできます。ビデオミキサーとインスタントシェアリング機能は、VFX技術者とオンセット編集者の時間を節約します。そして、マルチカメラセットは、複数機能で扱いやすくなりました。

OktoMagは、多くの編集ソフトウェアでサポートされているDNxHDコーデックを使用しています。鮮明な画質のビデオを記録し、10週間の長時間撮影をストレージに保存することができます (1TB SSD)。このマニュアルの次のセクションでは多くのユースケースを見つけることができます。

## 機能

- **MOV**または**MXF**コンテナの**DNxHD36**コーデックでビデオを録画&再生できます。
- **SDI**フラグ付きのビデオを自動的に録画することができます。また、互換性のあるカメラからファイル名を取得することで保存できます。
- オンスクリーンサムネイルブラウザまたは、タグでサポートされているウェブリモートモードで録画ビデオを見つけることができます。
- ビデオをミックスしたり、ライブソースでクロマキーを作成したりすることができます。
- レコーディング後、**VFX**技術者やオンセットエディタにイーサネットまたはワイヤレスルータ経由でビデオをインスタント共有できます。
- ウェブリモートという洗練された使いやすいインターフェースを携帯電話/タブレット/Mac/PCを使って、**OktoMag**にリモートで接続することができます。
- **OktoMags**は数秒でお互いをつなぎ合わせることができ、複数のカメラと同期して録画して再生することができます。設定不要です！また、複数のカメラの並行録画でフレーム単位で検索することもできます。あなたが何台のカメラで撮影しているかは関係ありません。
- **USB**や接続された**OktoMags**からビデオや画像をインポートすることができます。
- **OktoMag**は、市販の**12V**タイプのバッテリー使用でき、非常に低消費電力です。

## INPUTS & OUTPUTS



Rear Connections

- 1x BNC ビデオ入力 HD-SDI
- 1x BNC ビデオ出力 HD-SDI
- 1x XLR バランス 音声入力メス
- 1x XLR バランス音声出力オス
- 2x ネットワーク (イーサネット) ポート (10/100/1000 Mbps)
- 2x USB 3.0
- 1x 電源入力 #1 (ホットスワップ 12-27V, 29Watt)
- 1x 電源入力#2 /出力 (12V, Max:3A)
- 1x 予備ポート (エンドユーザー用ではない)
- 1x ヘッドフォンジャック 3.5mm (フロントインターフェース)

## FRONT INTERFACE

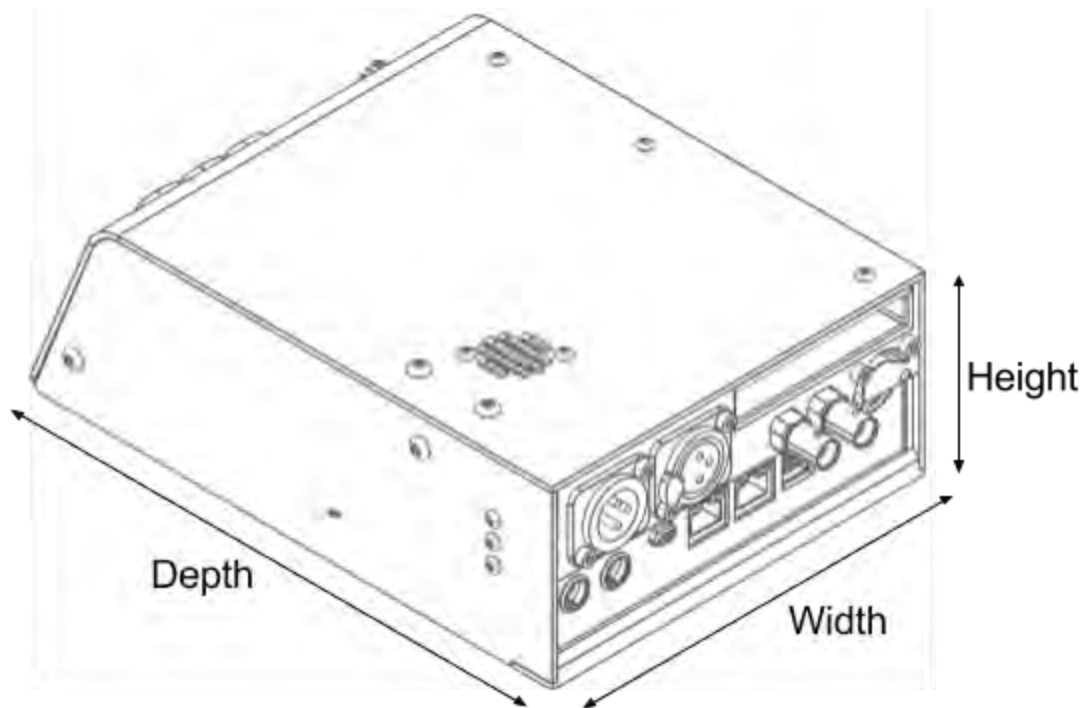


Front Interface

- 1x 有機ELディスプレイ (カラー160x128ピクセル) (ライブ・プレイバックの表示はなし)
- 3x 大ボタン (ライブ/REC, ストップ, 再生)
- 1x ヘッドフォン音量調整ノブ
- 1x ヘッドフォンジャック3.5mm
- 1x ジョグとナビゲーションボタン
- 1x 電源 On/Off ボタン

## PHYSICAL

OktoMagは、アルミケースと一体型のアルミバックパネルでとても頑丈に作られています。



寸法はストレージディスクを含めず、計測されています。温度制限は、OktoMag内部の最も弱い構成要素がベースとなっています。

高さ:	8.3cm (3.27")
幅:	15.5cm (6.10")
奥行:	22.5cm (8.86")
重さ:	1.6kg (3.52 ポンド)
操作温度:	5°C to 40°C (41°F to 104°F)
ストレージ温度:	-20°C to 60°C (-4°F to 140°F)
対象湿度:	0% to 90% 非結露

## QUICK START

OktoMagは、多数の部署で使用されるビデオアシストデバイスとして設計されています。このデバイスの初心者ユーザーまたは技術者以外の場合は、以下の手順が参考になります。

### 1. 電源を接続する

後ろの左下側の3ピンソケットにAC電源アダプタを接続します。または、バッテリーを電源として使用することもできます。前面のインターフェースに搭載されたオンボードのOLEDディスプレイは、電源接続後3秒でソースの電圧値を表示します。これは、OktoMagが正しく電源が入ることを意味しますが、On / Offを押すまでは起動しません。

### 2. OktoMagを起動する

前面インターフェースのオン/オフボタンを1秒以下押し続けます。ボタンを押している間、ボタンが点滅します。ボタンを離すと、青色になり、OktoMagが起動します。オンボードディスプレイには、準備ができるまで何秒間必要かが表示されます。以前に記録されたテイク数に応じて、一般に60秒以下の時間がかかります。起動中は、ボタンの青色が短時間点滅しますが、正常でなのでご注意ください。オンボードディスプレイでメニューが表示されたら、OktoMagが準備完了であることを意味します。OktoMagは常にライブソースビューでレコーダーモードで起動します。

### 3. ストレージディスク (Mag) の挿入

OktoMagは通常の2.5サイズのSSDをMag と呼ばれるメディアストレージとして使用します。NTFSのフォーマット済みのディスクを使用できます。それを挿入するだけで、ホットプラグとなります。ディスクのソケット部分は下側にあることに注意してください。Magが動作可能な状態になると、Recordボタンが黄色になります。事前にフォーマットされていない場合、OktoMagメニューでMagをフォーマットすることができます。ジョグ (OKボタン) の中央を押してメインメニューに移動し、メニュー>メイン設定>フォーマットという手順です。(また、OktoMagが動作していない時に抜き差しすることもでき、シャットダウン後のOktoMagに挿したままにすることもできます。)

### 4. カメラを接続する

新しいテイクを録画する場合は、カメラのSDIケーブルをリアパネルの「SDI IN」ソケットに接続する必要があります。カメラを接続すると、自動的に検出されたビデオフォーマットが、OLEDディスプレイに「1080i25」のように表示されます。サポートされていないビデオフィールドまたは「SDI IN」に何も接続されていない場合、「NO SIGNAL」と表示されます。



## 5. モニターを接続する

SDIモニターを背面の「SDI OUT」に接続することができます。SDIモニターを使わずにOktoMagを使うこともできます。インスタントシェアやWebRemoteのような他の接続機能を使ってテイクやテイクへのアクセスを記録したい場合に便利です。

## 6. 新しいテイクを録画する

OktoMagには自動録画機能がありますが、手動で録画することもできます。大RECORDボタンが黄色の場合、押すことができることを意味します。ライブビューでは、ボタンが押された段階で録画を開始します。このボタンは、プレイバックモードになっている場合、モニターをライブビューモードに切り替えます。録画中はボタンが赤くなります。録画を停止するには、RECの近くのSTOPを押してください。録画ボタンが再び黄色になります。（OktoMagが録画中または停止する間にボタンが急に点滅しますのでご注意ください）テイク番号はすべてのレコードの後に自動的に増えます。オンボードディスプレイで **Clapper** と表示されている、RIGHTナビゲーションボタンを押すと、シーン、ショット、名前/番号を編集できます。

## 7. プレイバック

大PLAYボタンは、黄色の時にディスクに少なくとも1つのテイクがあることを示します。押して再生を開始します。レコーダーモード（ライブビュー）でPLAYボタンを押すと、常にOktoMagは最後のテイクになります。フリーズした最初のフレームを再生用にロードした後、PLAYをもう一度押して再生を開始することができます。再生する他のテイクを選択する場合は、前後のテイクにLEFTまたはRIGHTのナビゲーションボタンを使用します。他の方法は、テイク間をサーフィンするために"スクリーンサムネイルブラウザ"を使用します。UPナビゲーションを押し、いつでも開くことができます。OktoMagが録画していない場合は、ライブビュー中にもアクセスすることができます。

## 8. OktoMagのステータスを確認する

デバイスの一般的な状態を確認するには、DOWNナビゲーションキーを押して、情報画面を使用します。ライブモードまたは再生モードのときにアクセスできます。"Power、Mag、Video、Cold"と表示された4つのインジケータがOLEDディスプレイに表示されます。いずれかが赤で表示された場合、何かをする必要があります。（DOWNキーを3秒間押し続けると、INFO画面がディスプレイにロックされます。もう一度DOWNを押してロックを解除してください）。

これで全てです。最も基本的な使い方をざっと解説しました。  
詳細なセクションに続きます

# 電源仕様

OktoMagは非常に小さく、ポータブルで、できることに応じて低消費電力を消費します。デバイスの操作に必要なエネルギーを供給するには、いくつかの方法があります。デバイスの技術的なニーズに応じて、注意が必要な部分を表示します。また、必要な電源アクセサリについては、マニュアルの「アクセサリ」セクションを参照してください。

## 消費電力

OktoMagは完全に機能している間、29ワット必要です。オンボードモニタやワイヤレスユニットのような接続アクセサリの電源としてOktoMagを使用する場合は、アクセサリの電力要件を追加する必要があります。調整されていないDC電源は、12Vと27Vの間の入力として使用できます。OktoMagは、90ワットのオンボードバッテリーで約3時間働くことができます。OktoMagには、2つの電源入力ホットスワップとして機能します。これは電源IOセクションで詳しく説明しています。

## 電源供給

OktoMagは、オンボードアクセサリのための調整電力を生成します。オンボードモニター、Teradekのようなワイヤレスユニット、HDMIコンバーターなどを接続することができます。消費電力が36ワット未満のほぼすべての12V受電装置には、OktoMagの電源が供給されます。

調整電力供給: **12 Volt**  
最大電流: **3 Amp**

リミッターがないか、または電源が入っているヒューズが内蔵されているため、デバイスの電源を切ることに注意してください。36Watt以上の電力を消費するPOWER OUTにデバイスを接続しないでください。オンボードデバイスやOktoMagに有害な可能性があります。

## ホットスワップ機能

OktoMagは、ホットスワップ対応の電源装置です。これは、同時に2つの異なるソースから電力を供給できることを意味します。例えば、AC電源アダプターを使用している間は、バックアップ電源としてバッテリーを接続できます。

これらの機能を使用して、モバイル利用時にOktoMagをシャットダウンすることなく、バッテリーを交換することができます。いずれかの電源が破損しているか空である場合、OktoMagはもう一方の電源を使用します。また、データ損失や技術的な誤動作を防ぐことができます。

OktoMagは、2つの異なる電源が供給されている場合、より高い電圧を使用します。例えば、19.5VのAC電源アダプタと12-16Vのバッテリーをバックアップとして使用している時、OktoMagはACアダプタのみから電力を消費します。これは、バッテリーよりも高い電圧を持つAC電源アダプターを使用することを推奨することが理由となります。

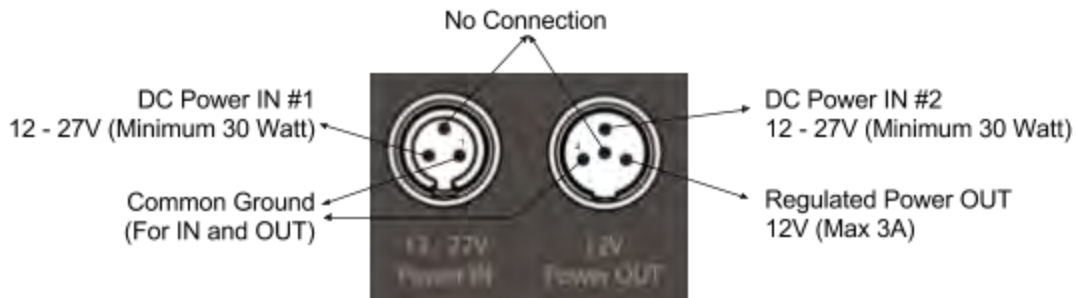
この機能は、2つのバッテリーを電源として使用する際に正しく使用する必要があります。2つのバッテリーの電圧（容量の残りのパーセンテージ）が等しい場合、OktoMagは同時に2つのバッテリーの電力を消費します。

## 電源 IO

OktoMagには2つの電源入力と1つの出力の、2つのミニXLRソケットがあります：

- 1x 電源入力用3ピンミニXLRオス
- 1x 電源入力/出力用4ピンミニXLRオス

Power OUTコネクタには、2番目のPower INピンも含まれています。つまり、ホットスワップ機能を備えたバッテリーのような別の電源入力には、Power OUTコネクタを使用することができます。



Power IN and OUT Connection's Pin Layout

電源入力と電源出力を同時に2番目の接続に接続する場合は、この電源出力コネクタ用に設計されたセパレータケーブルを使用する必要があります。私たちはこの入力と出力のコネクタを持つケーブルを「Power Y」と呼びます。付属品の中が含まれています。

この接続で使用する別のケーブルを作る場合は自己責任となります。電源ピンのショートカットは避け、電源要件に従ってください。

# メインモード

OktoMagは、主にレコーダー、再生、ビデオミキサーの3つのモードで動作します。メニューの内容とボタンの動作は、モードが動作していることに応じて変化します。「Instant Sharing」、「Web Remote」、「Gang Usage」などのその他の機能は、実行モードの影響を受けません。

OktoMagに慣れていない場合は、メインモードに入る前に「QUICK START」のセクションをチェックしてください。

OLEDディスプレイ上のモードインジケータや大ボタンの色を確認して、どのモードが動作しているかを知ることができます。ボタンライトは、長距離のセットから見ているときに便利です。

RECORD	STOP	PLAY	実行中のモード	説明
なし	なし	なし	Recorder	ライブソースなし、空ディスク
なし	なし	黄色		ライブソースなし、再生可能
黄色	なし	なし		ライブウォッチング、空ディスク
黄色	なし	黄色		ライブウォッチング、再生可能
Red	黄色	なし		ライブ録画
黄色	緑	黄色	Playback	再生一時停止
黄色	黄色	緑		動画再生
なし	黄色	なし	Video Mixer	再生用ファイル未選択
なし	緑	黄色		再生ファイル一時停止
なし	黄色	緑		ファイル再生

次のセクションでは、モードの違いについて説明しており、全て1つのOktoMagで作業していることと下記を前提としています。

- 対応するライブビデオソースがSDI INに接続されている。
- 対応するモニターがSDI OUTに接続されている。
- ストレージが正しくフォーマットされ、プラグが差し込まれ、使用可能な状態。

## レコーダー

レコーダーモードは、ライブソースを見たり、新しいテイクを録画したりするためのモードです。OktoMagはレコーダーモードで常に起動します。レコーダーモードにいない場合は、大RECORDボタンを押して、どのモード、どの時間でも、レコーダー（ライブビュー）に切り替えることができます

## 録画

レコーダーモードでは、RECORDボタンを押すと手動でレコーディングが開始され、ボタンが表に記載された色に変わります。録画中にRECORDボタンをもう一度押すと、実際の時間でブックマークが設定されます。ファイルを再生している間に、これらのブックマークをすばやく見つけることができます。録画を停止するには、STOPボタンを押す必要があります。いずれかの自動録画機能が有効になっている場合、選択に応じて録画が自動的に停止します。

OktoMagは最後のテイクの長さをオンボードディスプレイに大きな文字で表示します。実際のタイムコードは、durationの右下に表示されます。タイムコードエリアにはSDI INタイムコードが表示されます。

OktoMagが録画を行っていない時、UPナビゲーションボタンを押すと画面上のサムネイルブラウザを使用することができます。（機能のセクションでオンスクリーンブラウザの詳細を使用します。）

## 対応 SDI フォーマット

解像度	FPS
1080i	60, 59.94, 50
1080PsF	30, 29.97, 25, 24, 23.98
1080p	30, 29.97, 25, 24, 23.98
720p	60, 59.94, 50
625i PAL	25

## レコーダー設定

レコーダーモードには3つの特別な設定があります。あなたは、ナビゲーションの中央に置かれたOKボタンを押すことによって、OLEDディスプレイの下部中央に示されているように、これらの設定メニューに行くことができます。

### → Recorder > Menu > Audio source

新しいテイクに録画するオーディオソースを選択できます。この設定では、音声をフロントインターフェイスのSDI OUT（モニター）とヘッドフォンジャックにリダイレクトします。もし音声技術者がいる場合は、どのオーディオソースを使用するか聞いてみてください。2つ選択肢があります。

- ◆ **SDI EMBED:** カメラのSDI信号に添付されたSDIエンベデッドオーディオを使用します。カメラに音声が生供給されている場合、またはカメラに内蔵マイクがある場合は、この設定を使用します。
- ◆ **ANALOG XLR:** アナログXLR入力を使用します。この入力はモノラルとして機能することに注意してください。

### → Recorder > Menu > Auto record

以下のいずれかの設定で自動録画を有効にすると、録画を開始するためにカメラに従うことができます

- ◆ **OFF:** 自動録画無効。録画は手動でのみ可能です。
- ◆ **TIMECODE:** SDIエンベデッドタイムコードが開始されると録画を開始し、タイムコード停止時に停止します。この機能はタイムコードが対応しているカメラでのみ使用できます。重要な注意：カメラが「Free Run Timecode」モードで作業している間は、OktoMagは正常に動作しません。カメラで「Rec Run Timecode」を使用してください。
- ◆ **ALEXA:** OktoMagはArri AlexaメタデータをSDI信号で認識し、カメラの実際のファイル名とタイムコードを取得します。これらのデータを使用すると、OktoMagは同じタイムコードで同じファイル名で自動録画します。これは、OktoMagがプロキシファイルを記録することを意味し、オフラインオンセット編集、またはオンセットVFXテストとして使用できます。

### → Recorder > Menu > File Container

テイクのファイルコンテナを選択することができます。これは、OktoMagのワークフローにとって重要ではありませんが、PC/Macのビデオプレーヤーやビデオ編集ソフトウェアの必要に応じてコンテナを好むことができます。ファイルコンテナは以下となります。

- ◆ MOV
- ◆ MXF

## クラッパーデータ入力

OktoMagはシーンとショットの名前でテイクのグループを作ります。この機能を使用すると、WebRemoteおよびオンスクリーンサムネイルブラウザでブラウジングが簡単になります。

オンボードディスプレイで "Clapper"と表示されているように、右のナビゲーションボタンを押すと、シーン、ショット、テイクの名前/番号を編集できます。右に押すと、新しい選択が画面に表示されます。RIGHTをもう一度押して "Shot"を編集し、DOWNを押して "Take"を編集するか、UPを押して "Scene"の名前を編集します。LEFTを押すと元に戻ることができます。

ラベルを選択すると、仮想キーボードがOLEDディスプレイに表示されます。このキーボードはJogBoardと呼ばれています。ここに新しい値を入力できます。(JOGBOARDの詳細セクションに詳細が記載されています)

シーンフィールドまたはショットフィールドには任意の英数字を使用できますが、テイク名には特別な制限があります。テイクフィールドには「take1」のようにアルファベット部分とその後の数字部分がある必要があります。テイク名として「rehearsal」のようなものを入力することもできますが、OktoMagはそれを「rehearsal1」に変換します。これは、テイク名の自動増加に役立ちます。



## プレイバック

PLAYボタンを押すだけで、レコーダーモードから再生モードに切り替えることができます。レコーダーモードでPLAYボタンを押すと、最後に録画したファイルが自動的に読み込まれます。または、オンスクリーンサムネイルブラウザを使用して、OktoMagでレコーダーまたはプレーヤーモードで再生するテイクを選択することもできます。ビデオミキサーモードの場合は、まずレコーダーモードにする必要があります。

## テイク選択

再生モードは、読み込まれたファイルまたは選択されたファイルのフリーズした最初のフレームから始まります。この機能は、SDI信号を変更するとしばらくの間ほとんどのモニターが黒くなる為、ファイルの先頭部分が欠落することを防ぎます。最初のフレームが見えたら、再度PLAYを押して再生する必要があります。

テイクが使用可能になったら、LEFTナビゲーションボタンを使用して前のテイクに移動するか、または右のナビゲーションボタンを使用して、次のテイクに移動します。画面上のサムネイルブラウザを使用してテイクを選択したい場合、UPボタンを押します。(オンスクリーンブラウザ詳細は機能セクションに記載されています)

## 再生、一時停止、停止

選択したテイクは大PLAYボタンで再生することができます。テイクを再生すると、OLEDディスプレイには現在のテイクの時間とファイルの現在のタイムコードが表示されます。STOPボタンは、再生中に押すと一時停止します。一時停止中にSTOPを押すと、OktoMagはテイクの最初のフレームに戻ります。テイクにMark IN点が設定されている場合、一時停止中にSTOPを押すと、OktoMagはMark INフレームに戻ります。

## Mark IN/OUT

ディレクターのアクションより早くテイクを録画し始めた場合は、テイクの先頭部分をスキップすることができます。このような状況でMark INフレームを設定することができます。ナビゲーションの中央にあるOKボタンを押しながら、LEFTナビゲーションボタンを押してMark INフレームを設定する必要があります。現在のフレームがMark INに設定されます。同じ組み合わせをもう一度押すと、Mark INフレームが削除されます。OKとRIGHTのナビゲーションボタンを押して同様の方法でMark OUTを設定することができます。OLEDディスプレイのマークに従って、タイムラインバーが更新されます。

## ジョグ検索

フレーム単位でフレームを取得する場合は、ナビゲーションのジョグを使用します。ジョグをクリックするたびに、回転方向に応じて1つのフレームが検索されます。右回りに回すと次のフレームに進み、逆に回すと次のフレームに移動します。すばやく回転させるとリフレッシュレートに従ってフレームをスキップします。

## プレイバック設定

### → Playback > Menu > Repeat

- ◆ **ON:** プレーヤーは最初のフレームに移動します（設定されている場合はMark INフレーム）
- ◆ **OFF:** OktoMagは最後のフレームで停止します（設定されている場合はMark OUTフレーム）

### → Playback > Menu > Send Video to Mixer

このコマンドは、選択したテイクをビデオミキサーモードで開きます。初めてミキサー用に選択されたテイクだった場合、テイクはビデオミキサーモード用に変換されます。ミキサーでロードされたことがあるテイクは、変換せずに直接ロードします。ビデオミキサーモードにビデオチャンネルのプリセットがある場合、ビデオのパラメーターは変更されません。（ビデオミキサーのセクションに詳細が記載されています。）

### → Playback > Menu > Rename video

このメニューには現在のテイクの名前を変更する、シーン、ショットまたはテイクのサブメニューの選択肢があります。いずれかを選択すると、編集のためにOLEDディスプレイにJobBoardが表示されます。シーンやショットの名前を変更すると、オンスクリーンサムネイルブラウザでテイクを新しいラベルに移動します。新しいシーン名またはショット名がブラウザに存在しない場合は作成されます。

### → Playback > Menu > Delete Take

この操作は最終確認後にテイクを永久に削除します。

## ビデオミキサー

ミキサーモードを有効にするには、OLEDディスプレイに表示されているメニューを使用する必要があります。ナビゲーションの中央にあるOKボタンを押してメニューに入り、矢印またはジョグで「Switch to Mixer」に進み、もう一度OKを押します。このメニューには、レコーダーモードと再生モードの両方でアクセスできます。また、再生モードでライブソースとミックスしたいテイクを再生する場合は、「Send Video to Mixer」メニューを使用してビデオミキサーに入ります。この2番目の方法は、このマニュアルの「再生設定」セクションで詳しく説明しています。

ビデオミキサーは、レコーダーとプレイバックモードとは異なるインターフェースを備えています。ミキサーのメインページには、「MixerPreviewPage」と「Layer DetailsPage」という2つのページがあります。ビデオミキサーモードは、ロード時に「Mixer Preview Page」から始まります。

### ミキサープレビューページ

このページは、有効なレイヤーとそのスクリーンの位置に関するプレビュー画面として機能します。

使用可能なレイヤーがディスプレイの下部に表示されます。これらのレイヤーは、「Live」、「Video」、「Img1」および「Img2」です。この短い名前は、「ライブソース」、「ビデオプレイバック」、「画像レイヤー1」および「画像レイヤー2」を表します。

レイヤー名が灰色の場合、レイヤーが無効になっているか、レイヤーソースが選択されていません。以下で説明するように、レイヤーのソースを有効にしたり選択したりすると、ラベルの色が変わります。中央の大きな空白の四角形は、有効なレイヤーの同じ色のレイヤーの位置を表します。

LEFTまたはRIGHTのナビゲーションボタンを押してレイヤーをブラウズすることができます。カーソルがハイライトされたラベルに移動し、四角形がプレビューの一番上に表示されます。

UPボタンでミキサー設定メニューに移動するか、またはDOWNナビゲーションボタンを押してレイヤー詳細ページに表示を変更することができます。

### レイヤー詳細ページ

このページではレイヤーラベルがタブビューになります。また、LEFTまたはRIGHTのナビゲーションボタンを押してレイヤー間をブラウズすることもできます。レイヤータイトルの上にカーソルを置いたまま、上ボタンを押すとプレビューページに戻ることができます。

## レイヤーパラメーターの変更

Layer Details Page でDOWNキーを押すと、小さなカーソルがOLED上でその位置を変えることがわかります。UP / DOWNボタンを使って、このようなミキサーレイヤーパラメーターをブラウズすることができます。

OktoMagは、カーソルがパラメータ上にないときに選択されたレイヤーのパラメーターのテーブルビューを表示します。このテーブルビューはデフォルト値を灰色で示します。パラメーターをデフォルト以外の値に変更すると、テーブルには白い色で表示されます。複数のレイヤーで作業しながら、全てのパラメーターをすばやく確認できます。

下記に全てのレイヤーのパラメーターが記載されています:

### → Enabled / Disabled

このパラメーターは、レイヤーを完全に無効または有効にします。レイヤーを無効にすると、レイヤーの値が保持され、レイヤーが非表示になります。カーソルがライン上にある時に、OKボタンを押すだけで切り替えをします。

### → File: (source)

このパラメータは、すでにOktoMagのSDI INとして使用されているため、ライブレイヤーでは表示されません。他のレイヤーでは、このパラメーターはレイヤーソースとして使用するファイルまたはテイクを定義します。ビデオレイヤーのファイルパラメーターを使用している場合は、ジョグローラーを使用してフレームごとにビデオを検索できます。PLAYボタンを押しながらジョグを回すことで、再生モードと同じように早く探すことができます。また、ビデオは、ミキサーモードのどこでも大きなボタンで停止または再生することができます。ファイルブラウザでソースを選択するには、この行のOKボタンを押します。「Select source」のタイトルの下に「Mag&Imported Files」と表示されます。このフォルダは Mag という名前のSSDディスクを表します。また、USBディスクをOktoMagに接続すると、この画面にリストされます。(OktoMagは、NTFS、FAT、exFATなどのWindowsベースのディスクフォーマットを認識します。) Networkソケットに接続している時に複数のOktoMagsで作業している場合、他のOktoMagsを閲覧することは可能です。OktoMagsは同じリストにそのシリアル番号とともに表示されます。ブラウザの行を選択するには、UP / DOWNまたはジョグローラーを使用します。小さい緑色のカーソルはどこにいるかを示します。LEFTボタンで元に戻すか、OKまたはRIGHTボタンで行を選択することができます。フォルダを選択すると、OktoMagはそのフォルダの内部を一覧表示します。

ソースとして選択されたファイルの場合、OktoMagはそのファイルを変換するか、変換されたローカルコピーを使用してファイルを開くかを決定します。

まずOktoMagは変換されたソースファイルをミックスする必要があります。最初にミックスさせるファイルを選択またはインポートすると、OktoMagはそのファイルを内部コーデックに変換してより高速に処理します。その後、ファイルは、ファイルブラウザに表示される「MixerImported」フォルダに保存されます。

ファイルのミックスが必要な場合は、進行状況インジケータが画面に表示されます。完了するまでお待ちください。必要ない場合は、OktoMagは選択したソースを持つレイヤの詳細ページに戻ります。

◆ ビデオレイヤーがインポート可能なファイルタイプ

.avi, .mpeg, .mpg, .mp4, .mov, .mkv, .qt, .m2v, .m4v, .mxf, .mpe, .mpv, .webm

◆ イメージレイヤーがインポート可能なファイルタイプ: .png (with transparency), .jpg, .jpeg, .bmp, .gif, .tiff, .tif, .tga

→ **Alpha / Chroma**

このパラメータには2つのサブパラメーターがあります。Alphaパラメーターは、レイヤーの不透明度を変更します。クロマパラメーターは、レイヤーのクロマ誤差を変更します。OKナビゲーションボタンを押すと、選択したサブパラメーターを切り替えることができます。パラメーターにカーソルを合わせたら、ジョグローラを使用して0~100%の値を定義します。また、円形のインジケータが実際の値を表示します。例えば、「Alpha: Zero」はレイヤーが表示されないことを意味します。「Chroma: Zero」はクロマフィルターがレイヤーに適用されないことを意味します。

→ **Scale**

このパラメータは、レイヤーのフレームサイズを変更します。パラメータにカーソルを合わせたら、ジョグローラを使用して0~100%の値を定義します。再生を保持してジョグを回転させることで、値をすばやく変更できます。また、フレームの四角形は、画面の位置に応じてレイヤーのプレビューを行います。

→ **Pos**

この短いラベルは、レイヤーの位置を表します。X（水平）とY（垂直）座標には2つの内部パラメーターがあります。その上にカーソルを置くと、ジョグローラで選択した軸の値を変更できます。また、OKナビゲーションボタンを押すと、X軸とY軸を切り替えることができます。X値は-1920と1920の範囲内にあり、Y値は1080から1080。再生を保持し、ジョグを回転させることで、値をすばやく変更できます。また、フレームの四角形は、画面の位置に応じてレイヤーのプレビューを行います。

### → Zoom

ズームは、通常のカメラズームのように機能します。フレームのサイズや位置は変わりません。フレーム内のサイズを変えるのみとなります。パラメータにカーソルを合わせたら、ジョグローラを使用して0～100%の値を定義します。再生を保持してジョグを回転させることによって、値をすばやく変更することができます。

### → Z.Pos

この短いラベルは、レイヤのズーム位置を表します。ズームする位置を変更することができます。ズームパラメータがゼロのときは効果がありません。X（水平）とY（垂直）座標には2つの内部パラメータがあります。その上にカーソルを置くと、ジョグローラで選択した軸の値を変更できます。また、OKナビゲーションボタンを押すと、X軸とY軸を切り替えることができます。XとYの値は0～100%の範囲で指定できます。再生を保持してジョグを回転させることで、値をすばやく変更できます。

### → CropX

このパラメータは、フレームを左または右からトリミングします。トリミングの割合も変更することができます。左、右トリミングの2つの内部パラメータがあります。カーソルを上置くと、ジョグローラで選択したパラメータの値を変更できます。また、OKのナビゲーションボタンを押して、左と右を切り替えることができます。左と右の値は0～100%の範囲で指定できます。ゼロは、フレームが切り取られないことを意味します。たとえば、左：20%は、フレームが左側から384ピクセル分トリミングされることを意味します。「再生を保持してジョグを回転させる」ことで、値をすばやく変更できます。

### → CropY

このパラメータは、上または下からフレームをトリミングします。トリミングの割合も変更することができます。上、下トリミングの2つの内部パラメータがあります。カーソルを上置くと、ジョグローラで選択したパラメータの値を変更できます。また、OKナビゲーションボタンを押して、TopとBottomを切り替えることができます。トップ値とボトム値の範囲は0～100%です。ゼロは、フレームが切り取られないことを意味します。たとえば、Top：20%は、フレームがTop側から216ピクセル分トリミングされることを意味します。再生を保持してジョグを回転させることで、値をすばやく変更できます。

## Preset Loading/ Saving

OktoMagは、すべてのミキサーパラメータを、今後の使用の為に希望の名前のプリセットとして保存できます。ミキサーパラメータは、OktoMagを新たに開始したときにデフォルト値に戻ります。設定を保存し、将来の使用でそれらをロードすることは可能です。ミキサーの設定からロード/保存機能にアクセスしてください。

## ミキサーモードの解像度制限

OktoMagは、非常に小型でポータブルで設計され、できることに応じて電力を消費します。このデザイン機能は残念ながらいくつかのプロセッサ制限をもたらします。これらの制限のため、OktoMag解像度をダウンコンバートします。ミックスSDI出力のデフォルトの解像度は720p50です。いずれかのレイヤーにクロマキーを適用した場合、ミックスSDIアウトの解像度は576i50になります。

# 機能

## オンスクリーンブラウザ

OktoMagはSDIをサムネイルブラウザとして使用できます。シーンとショットでソートされたテイクのサムネイルをモニター上に表示します。この機能は必要なテイクを見つける時間を短縮します。

この機能は、レコーダーまたはプレイバックモードで利用できます。録画中でないときにUPナビゲーションボタンを押すと、オンスクリーンブラウザを開くことができます。レコーダーモードでは、最後に録画したテイクの選択インジケータでオンスクリーンブラウザが初期化されます。プレイバックモードの場合は、再生中のテイクで初期化されます。

テイクの間をブラウズするには、ジョグまたは矢印ナビゲーションボタンを使用します。赤色の四角形は、選択されているサムネイルを示します。

(詳細追加予定)



## 複数カメラ

複数のカメラで撮影する場合は、各カメラにOktoMagを使用する必要があります。この場合、OktoMagsはネットワーク（イーサネット）ポートを介して相互に接続することができます。OktoMagには2つのネットワークポートがあるため、数珠つなぎのように2つ以上のOktoMagsを接続することも、異なるタイプの接続を使用することもできます。セットアップで最大16のOktoMagsを接続することが可能です。OktoMagは特別なキャリブレーションや設定を必要としません。接続の詳細については、「無線/ネットワークの設定」を参照してください。

お互いにOktoMagsを接続すると互いに自動的に認識し、それらの間で情報の共有を開始します。マスターデバイスがないため、すべてのOktoMagは1つの統合デバイスのように動作します。つまり、それらのどれかを使って全てを制御することができます。録画を開始すると、すべてが録画を開始し、そのうちの1つを再生すると、そのプレーヤーを同期して、同じ時間にすべてのテイクを再生します。また、OktoMagのジョグはすべてのプレイバックをコントロールします。

それぞれのOktoMagに異なるカメラや異なるタイプのSDIソースを使用することができます。OktoMagは「時間ベース」の同期機能を備えているので、SDIフォーマットのうちの1つが25fpsで他が30fpsの場合でも同期再生が可能です。

この機能には、様々な作業に適したソリューションがあります。例えば、自動記録が有効になっている2台のカメラで作業している場合、OktoMagsは最初のカメラの開始時に記録を開始し、最後のカメラのカットで記録を停止します。この機能を使用すると再生を同期させることができます。もう1つの例として、1台のカメラプランでカメラがオフになった場合、実行中のカメラのみが記録されます。または、別のプランの撮影の為に、2つのユニットに分割することができます。再度別のOktoMagと繋がったら、OktoMagの同期は維持されます。それらの1つからテイクを再生すると、OktoMagは他のOktoMagsをチェックし、テイクを単独で再生するか、テイクを同期再生するかを決定します。

この機能は、WebRemoteに関連するセクションで説明されているサムネイルを結合したブラウジングも自動的に提供します。

特別な状況では、この機能は「メイン設定」で無効にすることができます。これを無効にすると、同じネットワークポートを使用する「インスタントビデオ共有」や「WebRemote」などの他の機能には影響しません。有効になっているかどうかを確認するには、メイン設定のセクションで説明している、OLEDディスプレイ内のメニューで「Main Settings」に入る必要があります。

# インスタントビデオ共有

オンセット編集が必要なセット、またはOktoMagのビデオミキサー機能を超える特殊な視覚効果が必要なセットで作業している場合は、この機能を使用できます。DITがファイルをコピーまたは変換するのを待つ必要はありません。

OktoMagは、録画したテイクを簡単に共有します。ネットワーク（イーサネット）ポートを介してPCまたはMacのネットワークフォルダとして機能することができます。コンピュータとOktoMagの間に接続されたイーサネットケーブルを介して全てのテイクにアクセスできます。または、Wi-Fiルーターを使用してワイヤレスでこの機能を使用することもできます。OktoMagが録画を停止した後、即座にMXFファイルまたはMOVファイルとして準備が整います。しなければならないことは編集ソフトウェアのタイムラインにファイルをドラッグアンドドロップすることだけです。

一般的なビデオ編集ソフトウェアは、変換プロセスなしでOktoMagのビデオファイルフォーマットに対応しています。そのため、録画されたテイクをタイムラインに直接ドラッグ可能です。

## Macでの接続

Macでファイルにアクセスするには、ワイヤレス/ネットワークの設定で説明している接続後の5つの手順に従ってください。

1. Macデスクトップで、「Go」メニューに移動し、「Connect to Server」を探します。または、Command + K のショートカットを使用します。

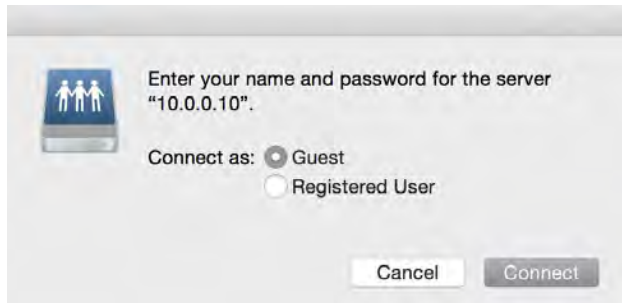


2. ウィンドウが表示されます。



smb://10.0.0.Xとサーバーアドレスを書く必要があります。Xは、OktoMagのボトムラベルに表示されているOktoMagのシリアルナンバー、または#記号の付いたOLEDディスプレイを表します。図はシリアルナンバー9を示す例となります。[Connect]ボタンをクリックします。

3. 接続コマンドの後、Macはユーザのタイプを聞きます。



「Guest」モードを選択するとフォルダーにアクセスできます。

4. 次に、ファイルにアクセスするためのフォルダ選択ウィンドウが表示されます。「Videos」フォルダを選択します。

ドライブリストとデスクトップに「Video」アイコンが表示されます。そうでない場合「Finder Preferences」でMacの設定を行う必要があります。必ず「Connected servers」を選択して、デスクトップ上のファイルを表示してください。



Name	Date Modified	Size	Kind
10-170111-152144-0001.mov	Jan 11, 2017, 3:21 PM	77.1 MB	QT movie
10-170111-152144-0001.xml	Jan 11, 2017, 3:21 PM	16 KB	XML text
10-170111-223345-0002.mov	Jan 11, 2017, 10:33 PM	193.6 MB	QT movie
10-170111-223345-0002.xml	Jul 17, 2016, 10:55 AM	20 KB	XML text
10-170111-223645-0003.mov	Jan 11, 2017, 10:36 PM	361.8 MB	QT movie
10-170111-223645-0003.xml	Jan 11, 2017, 10:36 PM	20 KB	XML text
10-170111-223922-0004.mov	Jan 11, 2017, 10:39 PM	62 MB	QT movie
10-170111-223922-0004.xml	Jul 17, 2016, 11:05 AM	20 KB	XML text
10-170112-172942-0005.mov	Jan 12, 2017, 5:29 PM	214.3 MB	QT movie
10-170112-172942-0005.xml	Jan 12, 2017, 5:29 PM	18 KB	XML text
10-170112-173119-0006.mov	Jan 12, 2017, 5:31 PM	321.1 MB	QT movie
10-170112-173119-0006.xml	Jan 12, 2017, 5:31 PM	18 KB	XML text
10-170112-173731-0007.mov	Jan 12, 2017, 5:37 PM	279.9 MB	QT movie
10-170112-173731-0007.xml	Jul 18, 2016, 5:57 AM	16 KB	XML text
10-170112-174146-0008.mov	Jan 12, 2017, 5:41 PM	299.6 MB	QT movie
10-170112-174146-0008.xml	Jan 12, 2017, 5:41 PM	16 KB	XML text
10-170112-174311-0009.mov	Jan 12, 2017, 5:43 PM	305.1 MB	QT movie
10-170112-174311-0009.xml	Jan 12, 2017, 5:43 PM	18 KB	XML text
10-170112-174708-0010.mov	Jan 12, 2017, 5:47 PM	315.5 MB	QT movie
10-170112-174708-0010.xml	Jan 12, 2017, 5:47 PM	17 KB	XML text
10-170112-175022-0011.mov	Jan 12, 2017, 5:50 PM	293.4 MB	QT movie
10-170112-175022-0011.xml	Jul 18, 2016, 6:10 AM	18 KB	XML text
10-170112-175536-0012.mov	Jan 12, 2017, 5:55 PM	329.7 MB	QT movie
10-170112-175536-0012.xml	Jan 12, 2017, 5:55 PM	18 KB	XML text
10-170112-180240-0013.mov	Jan 12, 2017, 6:02 PM	367.7 MB	QT movie
10-170112-180240-0013.xml	Jan 12, 2017, 6:02 PM	17 KB	XML text
10-170112-180437-0014.mov	Jan 12, 2017, 6:04 PM	320.5 MB	QT movie
10-170112-180437-0014.xml	Jan 12, 2017, 6:04 PM	18 KB	XML text
10-170112-180723-0015.mov	Jan 12, 2017, 6:07 PM	278.1 MB	QT movie
10-170112-180723-0015.xml	Jul 18, 2016, 6:28 AM	19 KB	XML text
10-170112-193232-0016.mov	Jan 12, 2017, 7:32 PM	400.3 MB	QT movie
10-170112-193232-0016.xml	Jul 18, 2016, 7:53 AM	21 KB	XML text

.movまたは.mxfファイルは記録されたフットページです。デフォルトでは、OktoMagがfilenameにマッチした自動記録モードで動作していない場合、ファイル名は下記となります：

シリアルナンバー- 年月日 - 時間分秒 - クリップ番号 . mov/mxf

編集ソフトウェアがDNxHDコーデックをサポートしている場合、ファイルをタイムラインにドラッグするだけとなります。そうでない場合は、DNxHDプラグインがいくつかの編集ソフトウェアに対応しています。内部ドライブにファイルをコピーして、信頼できる環境にすることをお勧めします。

## WindowsPCによる接続

WindowsベースのPCでファイルにアクセスするには、「ワイヤレス/ネットワークの設定」で説明している接続後の3つの手順に従います。

1. Windowsエクスプローラでマイコンピュータウィンドウを開きます。「コンピュータ」メニューをクリックし、「ネットワークドライブに接続」を選択します。
2. 使用可能なドライブ文字を選択し、フォルダ名として \\ 10.0.0.X \ videosを入力します。Xは、OktoMagのボトムラベルに表示されているOktoMagのシリアル番号、または#記号の付いたOLEDディスプレイを表します。「完了」ボタンをクリックします。
3. 次に、あなたが選択したドライブレターとしてビデオフォルダが表示されます。

.movまたは.mxfファイルは記録されたフットページです。デフォルトでは、OktoMagがfilenameにマッチした自動記録モードで動作していない場合、ファイル名は下記となります：

シリアルナンバー-年月日-時間分秒-クリップ番号.mov/mxf

編集ソフトウェアがDNxHDコーデックをサポートしている場合、ファイルをタイムラインにドラッグするだけとなります。そうでない場合は、DNxHDプラグインがいくつかの編集ソフトウェアに対応しています。内部ドライブにファイルをコピーして、信頼できる環境にすることをお勧めします。

## ウェブリモート

OktoMagはすべてのクルーにモバイル接続を提供します。権限を持っている人は、モバイル機器でOktoMagの機能にアクセスできます。どのユーザーもライブビューを見たり、自分のデバイスで個人的にテイクを検索したり再生したり、クラッパーのデータとテイクの追加情報を入力したり、PDF撮影レポートを生成したりすることができます。

プロセッサ制限のため、ユーザーは毎秒3フレームでライブビューを見ることができます。この機能により、特にモニターに直接アクセスできないメンバーの為に、メインフレームをチェックすることができます。OktoMagをライブストリーミングデバイスではなく、ライブビューを提供するのみとなります。しかし、記録されたフォーマットと同じFPSで個人的に再生することができます。

OktoMagはプライバシーに非常に安全なデバイスです。WebRemote機能を完全に無効にすることができます。デバイスには、「Super-user」という管理者ユーザーが変更できるユーザー権限があります。Super-userは、リモートでOktoMagを制御することができ、設定された権限を持つユーザーをカスタマイズすることができます。Super-userは、シーンやショットの再生制限を調整することもできます。

例えば、ブームのオペレーターは、ブームの位置を、アームに取り付けられたスマートフォンを介して誰にも邪魔されることなく調整することができます。メイクアップアーティストは調整を行うことができ、美容師は女優の髪の毛を確認でき、衣装部門では修正を行う為にライブビューを確認できます。連続性をチェックするために記録されたテイクの再生もできます。または代理店のプロデューサーは、TV CMの為に動いている間、クリエイティブチームの承認の為に、彼らのオフィスに進行中のテイクを共有することができます。バリエーションが増えるかもしれません...

マルチカメラ撮影の使用では、WebRemoteはインターフェースを1つに統合します。つまり、すべてのOktoMagsをインターフェースで制御できます。

OktoMagは、この機能に内部Webサーバーを使用します。このWebサーバーは、画面サイズの制限なしにほぼすべてのデバイスで動作する、反応性の高いWebインターフェースを提供します。巨大に監視されたMac / PCベースのシステム、またはスマートフォンで同じインターフェースを使用できます。

## ウェブリモートへの接続

OktoMagは、オンボード無線システムを提供していません。WebRemoteへの接続を開始する前に、「無線/ネットワークの設定」セクションに進みます。

ネットワーク接続の設定が完了したら、インターネットブラウザ経由でWebRemoteインターフェイスにアクセスできます。OktoMagはほぼ全てのブラウザをサポートしています。Appleデバイス用にSafariを使用し、他のすべてのデバイス用にGoogle Chromeを使用することをお勧めします。

まず、WebRemoteをオンにする必要があります。これを確認するには、「Main Settings」のセクションで説明している、OLEDディスプレイで「Main Settings」に入る必要があります。

WebRemoteに入るには、OktoMagのIPアドレスが必要です。OktoMagのデフォルトIPアドレスはシリアル番号と一致します。http://10.0.0.uというアドレスをブラウザのアドレスバーに書き込む必要があります。uは、OktoMagのボトムラベルに表示されているOktoMagのシリアル番号、または#記号の付いたOLEDディスプレイを表します。Enterキーを押すと、OktoMag WebRemoteがメインビューで初期化されます。

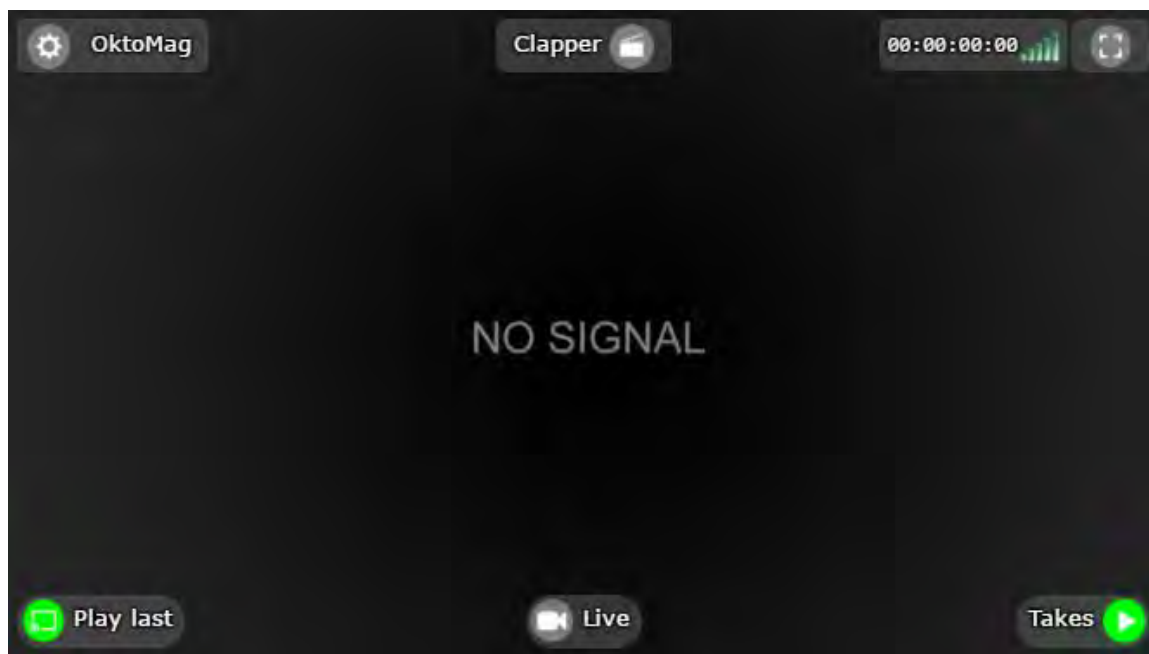
複数のOktoMagsを扱っている場合、どのOktoMagを接続しても問題ありません。WebRemoteは、複数カメラのセクションで説明した統一されたインターフェイスのように機能します。

モバイルデバイスやタブレットでWebRemoteを使用している間、ユーザーエクスペリエンスを向上させる為に、ホーム画面に追加することでフルスクリーンWebアプリケーションとして使用できます。ホーム画面にWebページを追加する方法については、モバイルデバイスとブラウザの仕様を確認してください。

## ウェブリモート - メインビュー

このインターフェースは、主にSDI OrTモニターに表示される内容を複製します。OktoMagがレコーダーモードの場合、ライブ画像が表示されます。OktoMagがSDIのテイクを再生している場合、メインビューにはそれが表示されます。

WebRemoteのメインインターフェース



このモニター複製は、約0.5秒の遅延を伴う3FPSしか示さないのをご注意ください。

WebRemoteは、SDIフレームをブラウザにフルスクリーンで表示します。あなたが複数のOktoMagでWebRemoteを操作している場合、画面内のすべてのOktoMagを表示するために画面をビューポートに分割します。ビューをタップすると、フルスクリーンになり、再度タップするとマルチビューが表示されます。

ボタン詳細:

**OktoMag:** 設定およびその他すべての詳細へのアクセス。

**Clapper:** このボタンは、シーン、ショット、テイクネーム、タグ、および次のテイクを録画する為の他の説明を入力できるフォームを開きます。

**00:00:00:00:** この場所には、実際のフレームのタイムコードが表示されます。また、デバイスに関する簡単な通知を提供します。タップすると詳細情報画面が開きます。□: このボタンはフルスクリーンモードを切り替えます。



**Play last:** このボタンをタップすると、最後に録画されたテイクをSDI出力モニターで再生します。SDIのテイクを再生すると、ラベルは「ライブ」になり、もう一度タップするとレコーダーに戻ります。

**Live:** この中央のボタンは、OktoMagの実行モードを示します。録画中は赤色になり、SDI出力モニターで再生すると緑色に変わります。タップすると、録画/停止ボタンやタイムラインスライダーなどの実行モードのコントローラが開きます。メインエリアをスワイプしてこのボタンに簡単にアクセスできます。詳細はモードコントローラーをチェックしてください。

**Takes:** タップしたときにテイクのリストを開きます。メインエリアを左にスワイプすると簡単にこのメニューにアクセスできます。

## ウェブリモート - 設定

メインビューのOktoMagというラベルの付いたボタンをタップするとアクセスできます。この設定メニューは、オンボードのものを含むOktoMagのすべての設定を提供します。また、ユーザー権限、PDFエクスポートなどのWebRemote固有のメニューも提供します。

## ウェブリモート - モードコントローラー

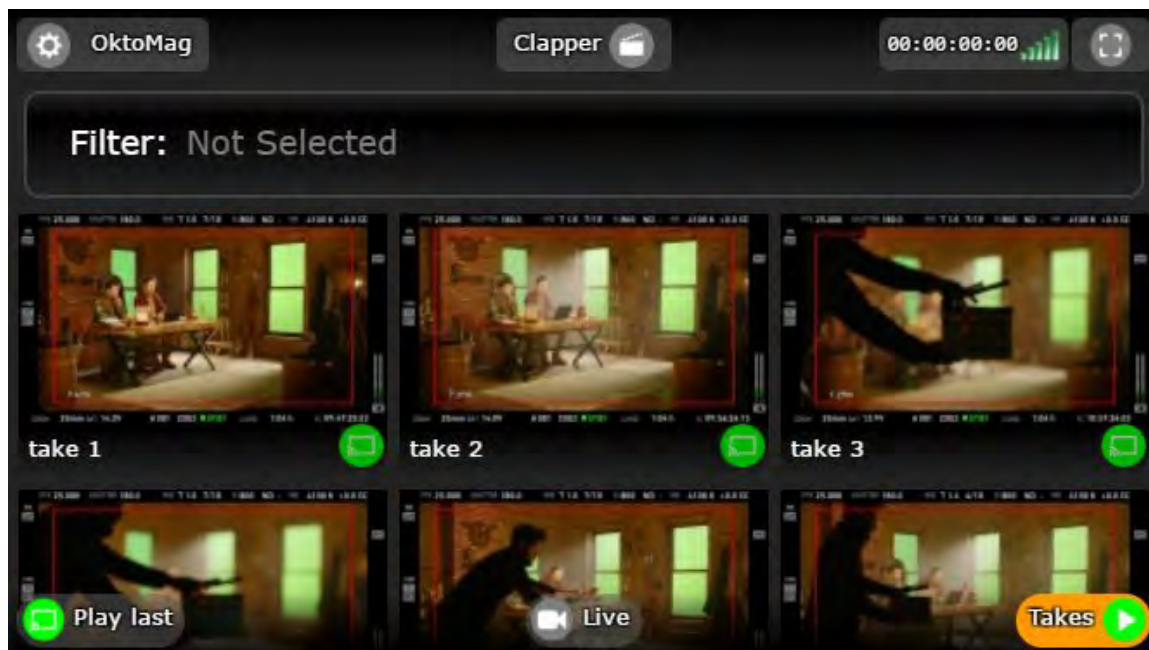
中央下部に配置されたボタンをタップすると（またはメインビューをスワイプすると）、OktoMagの実行モードに従ってコントローラーが表示されます。



このコントローラーは、OktoMagを操作している間、すべてのことを可能にします。 Super-user（またはリモートコントロールの権限を持っている場合）は、このインターフェイスから手動録画、再生、またはビデオミックスを作成できます。 このインターフェイスは、「複数カメラ」のセクションで説明したすべてのOktoMagも制御します。

## ウェブリモート - テイク

このリストは、メインビューで[Takes]ボタンをタップするとアクセスできます。また、メインエリアを左にスワイプすると、同じメニューに簡単にアクセスできます。



このメニューでは、検索フィルターとユーザー権限に従って、テイクのサムネイルが一覧表示されます。サムネイルは星で評価も示します。

ここでサムネイルをタップすると、モバイルプレーヤーのテイクが開き、端末でのみ再生されます。これは、OktoMagが別のテイクを録画している間、または別のテイクをディレクターに再生している間に、個人的に閲覧および再生することが可能であることを意味します。もし再生する前にテイクをプレビューしたい場合、この機能は便利です。

SDI出力モニターで再生する権限がある場合、サムネイルの近くに配置された緑色のボタンで使用することができます。タップすると、OktoMagは画面上のブラウザで選択したようにファイルを開きます。

OktoMagのテイクのリストは、あなたが複数のOktoMagを使って作業しているときにまとめられたテイクリストになります。サムネイルは、4つのサムネイルを分割して同期されたテイクのフレームを表示します。

## オンボードOLEDディスプレイ

カラー1.69インチのミニOLEDディスプレイは、OktoMagで最も重要な箇所となります。ライブフィードや再生からの画像は表示されません。しかし、実行モード、タイムコードとテイクの長さ、音声VUメーター、シーンショットとテイクの名前、スライダーの実際の位置、ボードの熱、電力の割合など多くの情報を表示します。

レコーダーまたはプレーヤーモードで作業中は、ディスプレイの上下に2つのストライプが表示されます。このストライプは、ナビゲーションボタンの動作を示します。たとえば、レコーダーモードでは、「Videos」ラベルに小UP矢印が表示されます。これは、UPのナビゲーション矢印を押すと、ビデオが表示されることを意味します。また、「Clapper」と書かれた右矢印が表示されます。RIGHTを押すと、ストライプのラベルが新しい値に変わり、選択したいクラッパー値を選択します。これらのストライプを見て、OktoMagの使用中に押すべきボタンを決めてください。

レコーダーモードとプレーヤーモードにはINFOという特別なボタンがあります。このINFOラベルには、OLEDディスプレイの右上隅に下矢印が表示されます。DOWNボタンを押し続けると、「Power、Mag、Video、Cold」と表示された4つのインジケーターがOLEDディスプレイに表示されます。いずれかが赤で表示された場合、何かをする必要があります。(DOWNキーを3秒間押し続けると、INFO画面がディスプレイにロックされます。もう一度DOWNを押してロックを解除してください)。

リストメニューでは、UPおよびDOWNナビゲーションボタンとジョグコントローラーで行を選択することで、OLEDディスプレイを制御できます。ボタンを使用すると緑の小さなカーソルが移動します。カーソルで強調表示された行を選択する場合は、ナビゲーションの中央に配置されたxOKzボタンを使用します。また、OLEDで特に明記されていない限り、LEFTボタンを使用して戻ることができます。

# メイン設定

この設定は、OktoMagがレコーディングしていない間はレコーダーとプレイバックメニューからアクセスできます。主な設定は、実行モードとは独立したプロパティとなります。この設定は、レコーダーまたはプレイバックモードでOKナビゲーションボタンを押してから、「Main settings」を選択することでメニューから入ることができます。ナビゲーションボタンの方法を使用してメニューをブラウズする方法については、「オンボードメニュー」セクションで説明しています。

## → Menu > Main settings > Gang mode

このプロパティには2つのオプションがあります。切り替えには4秒程度かかることがあります。

- ◆ **ON:** 他のOktoMagによってOktomagは発見され、このOktoMagも他のものを発見します。複数機能は利用可能となります。
- ◆ **OFF:** OktoMagは複数機能を拒否し、ネットワークポートによって他の人に接続されていてもスタンドアローンのデバイスのように機能します。このオプションでは、WebRemoteまたはインスタントビデオ共有は無効になりません。

## → Menu > Main settings > Web remote

このプロパティには2つのオプションがあります。切り替えには3秒程度かかることがあります。

- ◆ **ON:** OktoMagのWebRemote機能は利用可能です。
- ◆ **OFF:** OktoMagはWebRemoteリクエストを拒否し、誰もWebRemoteインターフェースにアクセスできません。WebRemoteの進行中のセッションも中断します。このオプションでは、複数機能やインスタントビデオ共有は無効になりません。

## → Menu > Main settings > Date/Time

OktoMagの現在の日付または時刻を設定します。OktoMagがプロキシ自動記録モードでないときは、現在の日付/時刻値を使用してファイル名を生成することに注意してください。また、画面上のサムネイルブラウザは、作成日時に従ってテイクをソートします。間違った日付/時刻の値を使用すると、ブラウザでの不規則なテイクの原因となることがあります。

- ◆ 左右のナビゲーションボタンを使用して、変更する数字を選択します。選択した値を変更するには、UPおよびDOWNナビゲーションボタンを使用します。すべての数字を正しい値に変更したら、中央のOKボタンを押してください。変更を保存せずにこのプロパティを終了するには、年の選択がハイライト表示されているときにLEFTナビゲーションボタンを使用します。

## → Menu > Main settings > Format Disk

OktoMagの後部スロットから差し込まれた2.5インチディスクをNTFSにフォーマットします。

注意：この操作を続行すると、ディスクとすべてのテイクが永久に読み取れなくなります。また、ディスクには、OktoMagが認識できない他の種類のファイルを含んでいることがあります。すべてをダブルチェックしてから、操作を実行する前に確認してください。

→ **Menu > Main settings > Delete all takes**

このメニューは、OktoMagの後部スロットから差し込まれたディスクからすべてのテイクを削除します。他のファイルが存在する場合は削除されません。

注意：この操作が続くと、すべてのテイクが永久に読み取れなくなります。すべてをダブルチェックしてから、操作を実行する前に確認してください。

→ **Menu > Maintenance > Write a command**

このプロパティは、メニュー構造では明らかにされていない機能用に設計されています。ここに入力すると、JOGBOARDがコマンドを入力したように見えます。テクニカルサービスで指示があるまで、この部分を使用しないでください。

## ジョグボード

OktoMagの革新的にデザインされたジョグを使用して任意の英数字の値を入力できます。その名前は ジョグをキーボードとして. から来ています。

多くのメニューからここに入ることができます。この画面に入ると、Enter filenameのように、入力した内容を示すタイトルが表示されます。また、QWERTYキーボードOLEDディスプレイに描かれています。ジョグボードは、実際のキーボードを使わずに素早く入力できるように設計されています。普通のキーボードに慣れている場合は、使用方法を学ぶのに時間がかかりません。

ジョグボードの真ん中に 赤いカーソル が表示され、バーチャルの指がどこにあるかがわかります。 ジョグを時計回りに回すと、カーソルは右に移動し、反時計回りに回すと左に移動します。しかし回している間、垂直の行に飛びます。 この赤いカーソルで入力する文字をハイライトし、[OK]ボタンを押して選択することができます。選択した後、カーソルはジョグボードの中央に戻ります。次の文字を入力する文字を考えている間に、素早く回転させることができます。

UPナビゲーションボタンは操作をキャンセルし、戻ります。 DOWNボタンは文字を大文字に切り替えます。 LEFTボタンは最後に入力した文字を削除し、 RIGHTは入力したテキストを保存します。

## ワイヤレス / ネットワーク設定

OktoMagには、1Gb / sNetwork（イーサネット）ポートが2つあり、多用途に使用できます。録画されたテイクオーバーを即座に共有することができます。複数のカメラ撮影の為に他のOktoMagsに接続することができます、デバイスへのリモートアクセス用のWebRemoteインターフェイスを提供します。

OktoMagは内部的にDHCPサーバーを使用します。なので、IPアドレスを校正または設定する必要はありません。PC / Mac / MobileデバイスのIP設定を自動モードにしておくのみです。また、内部でブリッジされているため、ネットワークポートを接続に使用することもできます。

WiFi経由でOktoMagに接続したい場合は、設定する必要があるのは通常の無線ルーターだけです。WiFi接続範囲と最大ユーザー容量は、ご使用のワイヤレスルーターの仕様によって異なります。あなたは、USB小型イーサネットワイヤレスルーターを使うことができますが、使用は限られてきます。ゲーミング用途のハイエンドワイヤレスルータを使用することをお勧めします。

自動IP設定でうまくいかない場合は、デバイスのパラメーターを使用してOktoMagに接続できます。この方法は、デフォルトではお勧めしません。

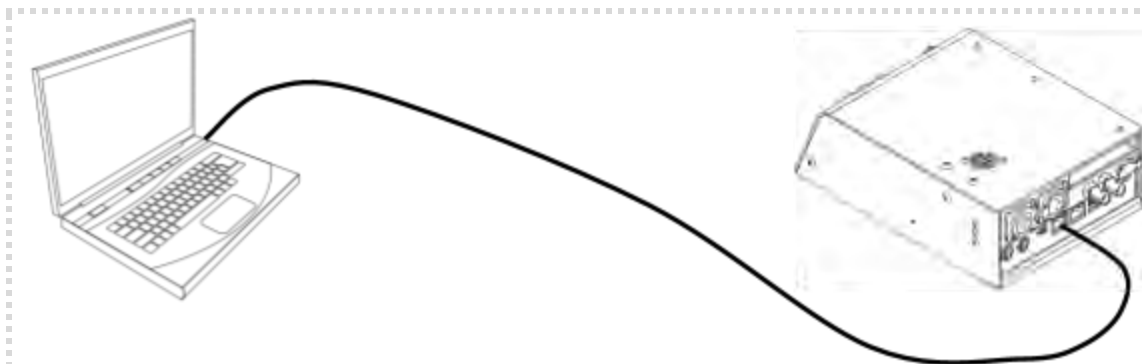
IP Address:	10.0.3.Y
Subnet Mask:	255.255.0.0
Default Gateway:	10.0.0.X
DNS Server:	10.0.0.X

**Y:** すべてのデバイスで5~250の固有の番号です。例えば、ノートPCの場合は15、iPadの場合は16です。

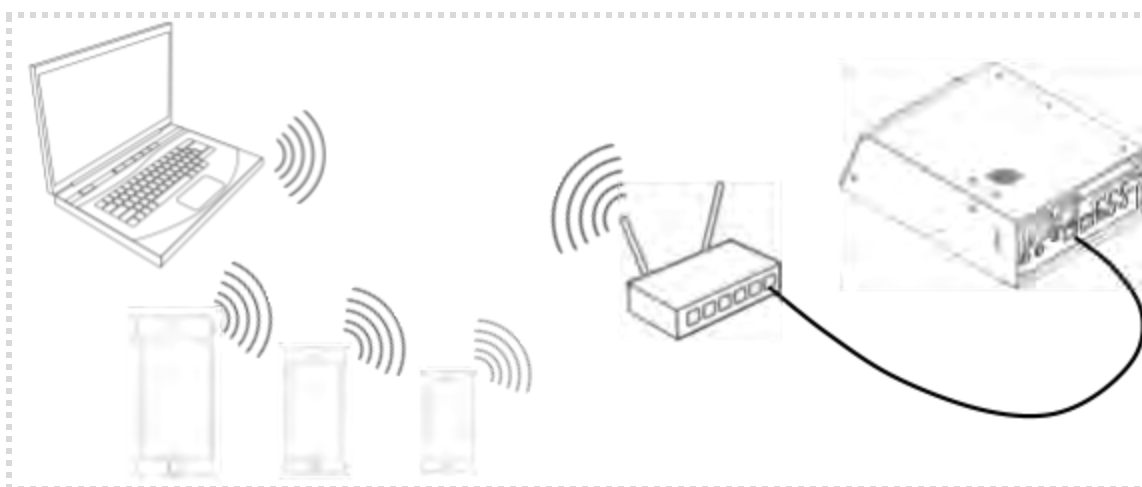
**X:** OktoMagのボトムラベルに表示されているOktoMagのシリアル番号または#記号の付いたOLEDディスプレイ。



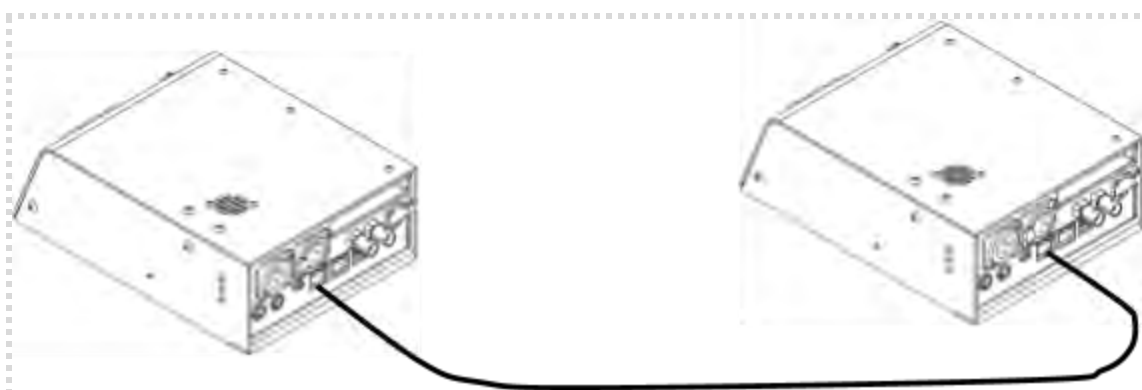
## OktoMagの接続例



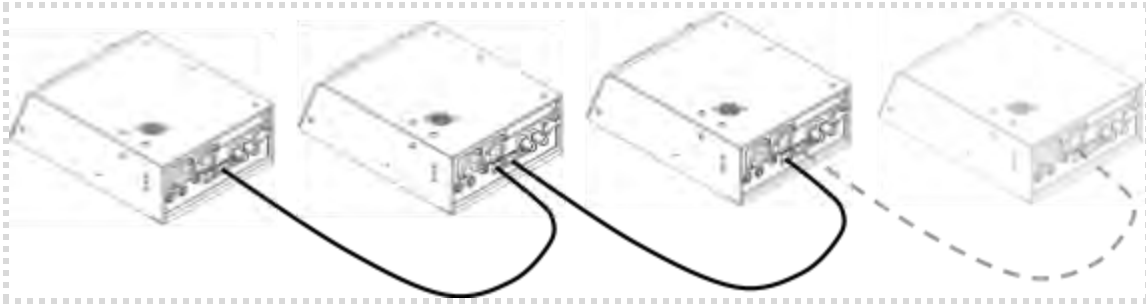
ウェブリモートと、またはインスタントビデオ共有用の1台のPC / MacとOktoMagの有線接続



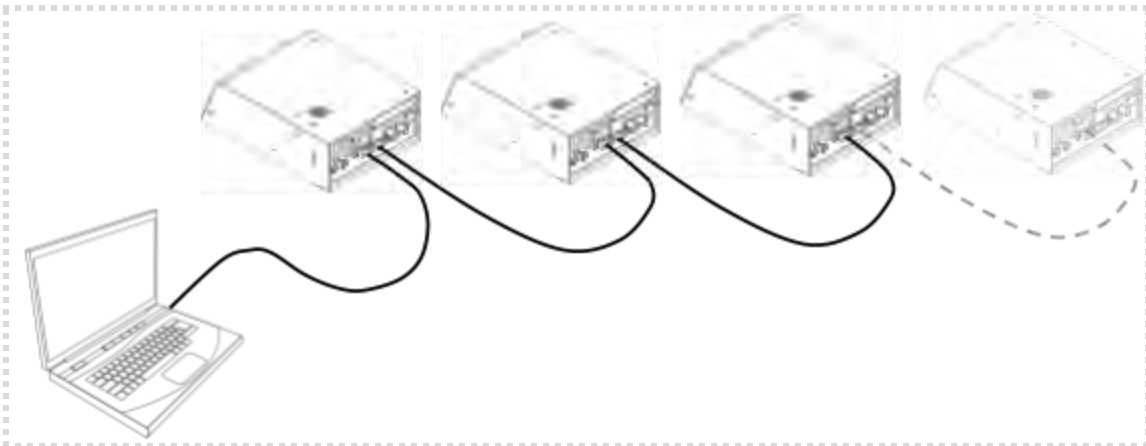
ウェブリモートと、またはインスタントビデオ共有の為のデバイスのOktoMagへのワイヤレス接続



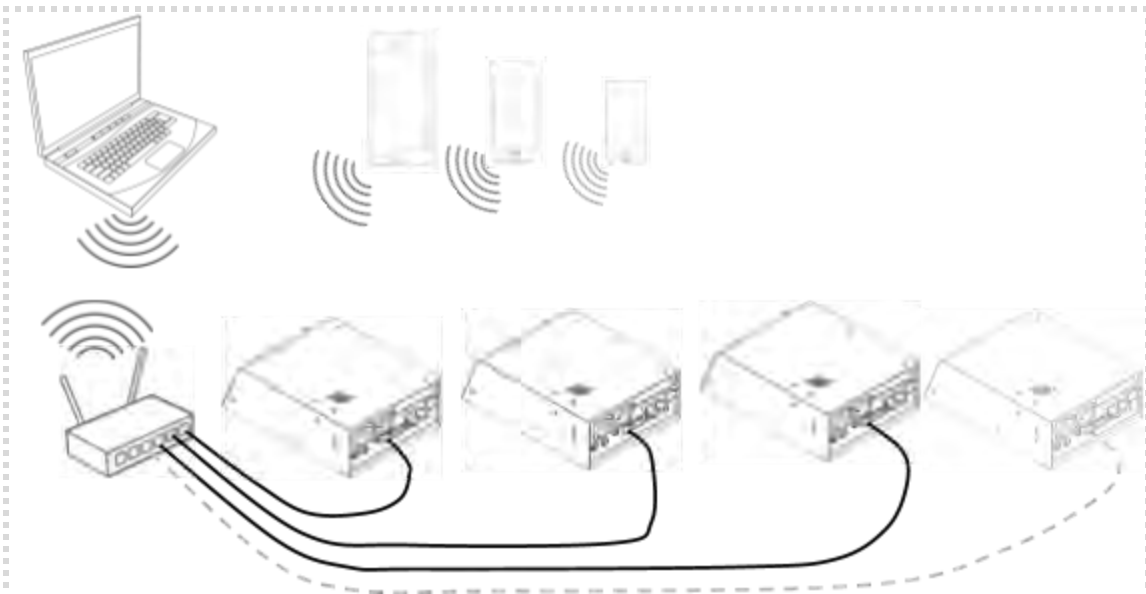
2つのカメラ撮影の為の2つのOktoMagsのスタンドアローン接続



複数のカメラ撮影の為に2つ以上のOktoMagsをGangにデジチェーン接続します。



1台のPC / MacをいくつかのOktoMagsにデジチェーン接続して複数のカメラ撮影。また、ウェブリモートおよび/またはインスタントビデオ共有の場合



いくつかのOktoMagsをデジチェーン接続して、複数のカメラ撮影、ウェブリモートと、またはインスタントビデオ共有。

## ファームウェアアップデート

OktoMagファームウェアのアップデートは、ウェブリモート機能を使って行うことができます。まず、このマニュアルの「ウェブリモート」で説明しているよう、ウェブリモートに接続する必要があります。

### アップデートを始める前に:

1. [www.oktomag.com](http://www.oktomag.com)にアクセスし、ファームウェアをアップデートする最新の方法を含む最新のユーザーマニュアルを必ず使用してください。
2. OktoMagのディスク構造は、新しいファームウェアで変更できます。OktoMagは古いディスク構造をサポートしようとしませんが、保証するものではありません。ですので、進行中のプロジェクトでデバイスを更新しないでください。古いファイルが永久に読めなくなる可能性があります。
3. 電源障害を含めて更新処理が中断されることはありません。そのため、UPSには安定した電源を使用するか、更新中は主電源の横にバックアップバッテリーを接続してください。OktoMagはテクニカルサービスに修理に出す必要が出てきます。
4. ネットワークポート経由でOktoMagのウェブリモートに接続し、OktoMagから不要なケーブルESDIケーブル、USBポート、XLRオーディオソケット、ヘッドフォンジャックFを抜きます。更新中に静電気が発生した場合は、OktoMagはテクニカルサービスに修理に出す必要が出てきます。

### ファームウェアアップデート

Oktotechは、[www.oktomag.com](http://www.oktomag.com)で正式にファームウェアアップデートをリリースしています。サポートサイトから最新のファームウェアアップデートをダウンロードしてください。

ファイルをダウンロードしたら、インターネットブラウザから [http://10.0.0.X / update](http://10.0.0.X/update)に接続する必要があります。Xは、更新したいOktoMagのシリアル番号です。シリアルナンバーはOktoMagのボトムラベルまたは、#記号が付いたOLEDディスプレイに表示されています。

この時点で、画面の指示に従って更新を完了する必要があります。

# 付属品

電源アダプター (AC to DC)

パワーYケーブル

アクセサリ延長ブラケット

バッテリーマウント(BP-U)

バッテリーマウント (V-マウント)

バッテリーマウント(Gold)

7インチ モニター用リグ

7インチモニター